

ふなばし市議会だより

No.196 <年4回発行>
平成21年(2009年)9月議会
発行 船橋市議会
編集 広報編集委員会
〒273-8501
船橋市湊町2-10-25
電話 047 (436) 3012
<http://www.city.funabashi.chiba.jp/giji/gikaisite/>



ふなばしの秋

駅バリアフリー化のための補助金を含む

一般会計補正予算など18議案を可決

平成21年第3回定例会は、9月3日から9月29日までの27日間の会期で開かれました。

今定例会では、市長から18議案が提出され、リハビリテーション病院の業務の充実を図るため、船橋市立リハビリテーション病院条例の一部を改正する条例等を含めた全議案を可決しました。

最終日には、平成20年度の各会計決算を審査する決算特別委員会を、また、合併政令指定都市調査研究特別委員会を設置し、閉会しました。

主な記事

議案等の概要 議案の議決結果	P 2
議案質疑	P 3
各委員会の報告 陳情の議決結果	P 4
一般質問	P 5～P 8

議案等の概要

平成21年度補正予算

一般会計補正予算〔第1号〕
28億9625万円増額

内訳
総務費
5374万2千円増額

・防災推進諸経費
・街路条件調査事務費

民生費
8億5192万5千円増額

・子育て応援特別手当
・保育所施設整備費補助金ほか

衛生費
5320万円増額

・保健所結核予防費
・特定不妊治療費助成事業費ほか

労働費
50万1千円増額

・高齢者職業相談事業費

商工費
4124万円増額

・商業環境施設維持管理費補助金

・消費生活センター運営費ほか

土木費
10億8960万円増額

・鉄道駅エレベーター等整備事業補助金

・都市計画道路用地購入費

・運動公園整備費ほか

消防費
1256万1千円増額

・常備消防車両整備費
・消防水利デー夕整備費

教育費

7億9348万1千円増額

・学校運営費
・学校管理諸経費ほか

下水道事業特別会計補正予算
2億9000万円増額

内訳
・高瀬下水処理場整備費
・西浦下水処理場整備費

老人保健医療事業特別会計補正予算
2億3760万円増額

内訳
・国庫負担金等返還金

介護保険事業特別会計補正予算
1億930万2千円増額

内訳
・国庫負担金等返還金

後期高齢者医療事業特別会計補正予算
7542万1千円増額

内訳
・後期高齢者医療広域連合納付金

・保険料還付金ほか

専決処分の承認を求めることについて（平成21年度一般会計補正予算）〔第13号〕
3億8000万円増額

内訳
・収入返還金

改正する条例
船橋市立リハビリテーション病院条例の一部を改正する条例

〔第6号〕
リハビリテーション病院の業務の充実を図るため、

一般病床から療養病床へ病床種別を変更することにも維持期のリハビリテーションの業務を追加するため、所要の定め等をするもの。

国民健康保険条例の一部を改正する条例

〔第7号〕
健康保険法施行令の一部を改正するもの。

改正しない、出産育児一時金の額を35万円から39万円に引き上げるため、所要の改正を行うもの。

養護老人ホーム条例を廃止する条例

〔第8号〕
施設の老朽化及び平成21年10月1日から民設民営による養護老人ホームが新たに開設されることに伴い、船橋市養護老人ホーム豊寿園を廃止するため、船橋市養護老人ホーム条例を廃止するもの。

3億2338万3935円

人事に関するもの

副市長選任の同意を求めることについて

〔第14号〕
松戸 徹（新任）

教育委員会委員任命の同意を求めることについて

〔第15号〕
中原 美恵（再任）

公平委員会委員選任の同意を求めることについて

〔第16号〕
阿部 三郎（再任）

監査委員選任の同意を求めることについて

〔第17号〕
高地 章記（新任）

固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて

〔第18号〕
島崎 克美（再任）

人権擁護委員の候補者推薦について

〔諮問第1号〕
櫻井 一正（再任）

可決された決議・意見書

地方自治の継続性に配慮した国の予算執行に関する意見書

八ッ場ダムの早期完成に関する意見書

基地周辺対策予算の増額等に関する意見書

地域防災計画等の見直し及び策定に関する決議

肝炎対策基本法制定に関する意見書

高速道路無料化反対に関する意見書

有権者本位の公職選挙法改正に関する意見書

公共工事における賃金等確保法（公契約法）制定に関する意見書

合併政令指定都市調査研究特別委員会

今定例会において14人の委員による合併政令指定都市調査研究特別委員会を設置されました。

委員の構成は次のとおり。

委員長 斎藤 守

副委員長 橋本 和子

委員 鈴木 郁夫

上林 謙二郎

中沢 学

佐藤 重雄

佐藤 新三郎

安藤のぶひろ

小石 洋

木村 哲也

まき けいこ

石渡 憲治

斎藤 誠

七戸 俊治

決算特別委員会

平成20年度各会計決算については14人の委員による決算特別委員会を設置し、11月5日から10日までの4日間、審査を行います。

委員の構成は次のとおり。

委員長 佐藤 重雄

副委員長 佐々木 克敏

委員 角田 秀穂

鈴木 郁夫

斎藤 忠

中沢 学

佐藤 新三郎

渡辺 賢次

鈴木 和美

長谷川 大

池沢 敏夫

石渡 憲治

小森 雅子

浅野 正明

議案の議決結果

付託委員会	議案番号	件名	各会派の賛否							議決結果			
			公	共	自	耀	市	し	新		民	緑	
予算特別	議案第1号	平成21年度船橋市一般会計補正予算	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第2号	平成21年度船橋市下水道事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第3号	平成21年度船橋市老人保健医療事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第4号	平成21年度船橋市介護保険事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第5号	平成21年度船橋市後期高齢者医療事業特別会計補正予算	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	可決
健康福祉	議案第6号	船橋市立リハビリテーション病院条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第7号	船橋市国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第8号	船橋市養護老人ホーム条例を廃止する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
市民環境経済	議案第9号	船橋市旧西浦町事業所解体工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
建設	議案第10号	西浦下水処理場合流沈砂池機械設備更新工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	議案第11号	高瀬・飯山満幹線管渠築造工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
文教	議案第12号	(仮称)船橋市坪井公民館新築工事請負契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
委員会付託省略	議案第13号	専決処分の承認を求めることについて（平成21年度船橋市一般会計補正予算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
	議案第14号	副市長選任の同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第15号	教育委員会委員任命の同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第16号	公平委員会委員選任の同意を求めることについて	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第17号	監査委員選任の同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
	議案第18号	固定資産評価審査委員会委員選任の同意を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意

○-賛成 ×-反対 (公)公明党 (共)日本共産党 (自)自由清政会 (耀)耀(かがやき)(市)市政会 (し)市民社会ネット (新)新風 (民)民主党 (緑)緑政会

※各会派の質疑・討論等の詳細は、議会のホームページや議会事務局及び図書館、公民館に配布の会議録をご覧ください。
なお、請願陳情についての委員会記録は、議会のホームページまたは、議会事務局をご覧ください。

議案質疑

新風

神田 廣栄

第1号について

防災推進費に八木が谷中学校など7校に備蓄品を配備する2830万円の補正予算が組まれている。既に備蓄配備の済んでいる拠点小学校と、それ以外の小学校や中学校の備蓄品を比べると、後者にはロープ・ハンマー・のこぎり・シャベルなどの救助用具、鍋類、多くの物を運ぶことのできるリヤカーが配備されていない。これらはどの避難所にも最低限配備されるべきものと考えられる。

救助用具や鍋・やかん等の資機材については基本的に市内10カ所の防災倉庫での対応を考えているが、初期対応活動を迅速に行うために市内5地域の中に3校ずつ設けた拠点小学校15校に追加の配備をしている。

リヤカーについては重要性を認識しており、早期に配備したい。
新築する坪井公民館の地下駐車場への進入路が急角度になっているが、安全性には十分配慮したのか。
カーブミラーや回転する赤色灯やブザーを設置し、安全性に配慮していく。
駐車場に入った車が転回する場所が少なく、一部駐車スペースが使いづらいのではないかと。また、出庫する際に出にくいのではないかと。
切り返しに他の駐車スペースを活用するなど利用者の協力を戴きながら、安全に利用できる駐車場の運用を図っていききたい。

公明党

松壽 裕次

第1号について

国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金の活用について、今回提案の22事業を取り上げた理由は、また、市内事業者への発注などを通じた経済の活性化にどのように寄与するか。
各部署に対象事業の見積もり等を提出させたうえで、経済政策的な視点も含め優先順位が高い事業を選定。また、市が直接発注する事業については、極力市内業者への発注を心がけるなど、短期的・将来的に市内経済の活性化につながる

ことを視野に入れた。
商店街街路灯省エネ電球交換事業による消費電力やCO₂の削減量は。
市内の水銀灯をすべて省エネ電球に交換した場合使用電力で94万8千kw、CO₂で369トンの削減。また電気料金は758万6千円の軽減になる。
県基金活用事業について、他に活用できる県基金はなかったのか。
今回は緊急雇用など3基金を活用。今後は環境関連を検討中。
安心子ども基金を活用した保育ママ事業の推進について検討しているか。
保育ママ事業は22年度実施に向け検討中。同基金

については来年度補助を受けるために要求をした。
公園長寿命化について、今回は6公園のみの計画策定だが今後の計画は。
2カ年で近隣公園クラス以上の大規模公園の長寿命化計画を策定する。その後街区公園等は3カ年程度で計画予定である。

ない。どう対応するのか。
鉄道事業者はまず1つの外付けエレベーター確保を考えている。駅入口までの安全な通路確保は関係部局と協議を進めたい。
下総中山駅構内エレベーター設置は歓迎するが、南口側の6段の階段の段差解消はどうするのか。
階段下がすぐ道路でスロープ設置が困難である。
南北の通路の確保を。JRと協議する。
今回、教員に配備されるパソコンは授業用教材のデータのやり取りを職員室でできるのか。
可能である。
市の学校事務職員へもパソコン配備を。

検討する。
今回配備の教材提示用カメラで、汚水分解などで活躍するゾウリムシなど、原生動物を大画面で見せる授業は可能か。
可能となる。
第9号について
旧西浦事業所に保管されているPCBは、カネミ油症事件の原因となった有毒物である。管理と分解はどうするのか。
厳重に管理し最終処分は江東区の処理施設で行う。
近隣住民に船舶の廃棄物で迷惑をかけてはいけない。処理方式は高温分解か、塩素を置換分解する方式か。
水熱酸化分解法であり、ダイオキシンは発生しない。

市政会

日色 健人

第1号について

太陽光発電システム及び高効率給湯器購入補助事業について、温室効果ガスの削減量と、その削減量は事業費に見合ったものか。
太陽光発電システム設置補助事業では、年間の二酸化炭素削減量は約1・5tで削減費用は1t当たり約3500円になり、費用対効果はあると考える。

期待され妥当性はある。
船舶アリーナの大型映像装置の更新については、その必要性やレンタルでの対応等について本日に検討をしたのか。
船舶アリーナの価値を高めるためであり、レンタルの場合では費用が高額なことや、設置場所がない等で、利用者に不便をかけるため買い換えを考えている。

設計価格の半値以下で落札されているが、設計を請け負ったコンサルタント会社に対する委託契約の経緯は。
ダイオキシン類の汚染、暴露防止等を考慮しながら行う特殊な工事であることから、プロポーザル方式を行い業者選定した。

総合体育館のオーロラビジョンを1億8千万円かけて更新するというがこれは年4・5回しか使っていない、外部監査人からも低稼働設備だ」と指摘を受けていたもの。目の前でナマでやっているのにわざわざ天井のテレビを見る必要性は全くない。つけた当初からメーカーを潤わせただけの設備だったのでないか。どこかで何らかの金でも動いたのかと市民が勘ぐりたくなるような設備だ。この際どういう無駄な設備の更新はやめて予算を緊急性の高い他の施策に回すべきだ。大型映像装置が生み出

鮮明で迫力ある画質は臨場感にあふれ選手や関係者、観客の感動を呼び会場と観客席の一体感を作り上げる。今後広く周知し新たな利用者の掘り起こしに努める。
小学校に電子黒板を設置するというが低学年の可動式黒板の方が断然優先度が高い。こちらに力入れよ。
今年も7教室に設置した。引き続き設置に努める。

市発注の建築工事の受注が木村建設に偏重している。今回3者が同一価格でくじ引きで落札したとのことだが昨年度の小学校の耐震補強工事も3つともくじで落札している。特定の業者に市の契約が集中する状態は改善すべきではないか。
十分に公正な入札がなされた上での結果である。

少子化問題は、国家の重要課題の一つである。9月で607人いる保育園の待機児童の対策はどうか。
精神的に保育園用地の

情報収集に努め、民設民営による保育園整備に積極的に取り組む。
公民館へのデジタルテレビ整備について、既存のアナログテレビは廃棄をせずに、サークル活動や勉強会などでのモニター用として活用できないか。
利用団体の学習活動用に、モニターとして有効活用していく。
総合体育館の人工芝生張りかえについて、多目的広場と呼ばれているが、どのような位置づけか。
当初、多目的広場としてつくられたが、大会等での駐車場の利用が多くなり、平成10年に駐車場として条例改正した。駐車場として使用する以外の日は、スポーツ活動ができる広場として地域住民に開放していく。

日本共産党

中沢 学

第1号について

自由清政会
佐藤 新三郎

2年以内に離職し、就労能力と就労意欲のある者のうち、住居を喪失または喪失するおそれのある者で原則として収入がなく、預貯金が一定額を超えないこと、就職活動を行っていることが条件。
少子化問題は、国家の重要課題の一つである。9月で607人いる保育園の待機児童の対策はどうか。
精神的に保育園用地の

自由清政会
佐藤 新三郎

自由清政会
佐藤 新三郎

自由清政会
佐藤 新三郎

自由清政会
佐藤 新三郎

自由清政会

佐藤 新三郎

第1号について

自由清政会
佐藤 新三郎

自由清政会
佐藤 新三郎

自由清政会
佐藤 新三郎

自由清政会
佐藤 新三郎

民主党

斉藤 誠

第1号について

自由清政会
佐藤 新三郎

自由清政会
佐藤 新三郎

※PCB・・・ポリ塩化ビフェニルのこと。変圧器や安定器の冷却油や、機械の潤滑油などに使われた。生体に対する毒性が高く、脂肪組織に蓄積しやすい。発癌性があり、また皮膚障害、内臓障害、ホルモン異常を引き起こすことがわかっている。
水熱酸化分解法・・・高温、高圧下での水のもつ強い反応溶媒特性を利用して、炭酸ガスや水、塩素、水素などに酸化分解する方法。
LED・・・「発光ダイオード」と呼ばれる半導体のことで、電球や蛍光灯に比べて余分な熱を消費せず寿命も長いため、次世代の照明として期待されている。

各委員会の報告

予算特別委員会

第1号については、日本共産党から、船橋アリーナ・大型映像装置整備を中止する組み替え動議が提出され、同装置の市民ニーズに対する認識について質疑があった。

第2号については、「下水道計画全体を見直し、市債の償還計画を市民に公表することを求める。」との原案賛成討論があり、採決の結果、全会一致で可決となった。

第3号については、「本補正内容は、事務処理であることから反対しない」との原案賛成討論があり、採決の結果、全会一致で可決となった。

第4号については、「本補正内容は、昨年度の剰余金を国・県へ返還する事務である。なお、市民に対しても、保険料引き下げ等の方法で還元することを求める」との原案賛成討論があり、採決の結果、全会一致で可決となった。

第5号については、「後期高齢者医療制度には反対であり、また国も制度を廃止する方向を打ち出している」との原案反対、「本補正は、出納整理期間中の保険料・過誤徴収した保険料等が歳入であり、広域連合への納付金及び保険料還付金等が歳出であることから、市民にとっては必要な事務」との原案賛成討論があり、採決の結果、賛成多数で可決となった。

第6号は、リハビリテーション病院が療養病床になることによる影響、運営方針の変更過程について等の質疑、「公立病院として、市の姿勢の是正を強く求め、賛成」「維持期のリハビリができるようになる」との賛成討論があった。

第7号は、出産一時金の概要、財源、滞納保険料との関係等についての質疑、「出産一時金の増額について継続していくことを求める。市独自で上乗せの検討を」「増額には賛成。申請方法もよくなった」との賛成討論があった。

第8号は、養護老人ホームを民設民営にするメリット、市の役割や義務の変化、点検に関する協定について等の質疑、「福祉施設は、市が責任を持つべき。必要な人が漏れなく入所できる体制を」との反対討論、「措置については市が責任を持つ。土地の無償貸付も便宜供与には当たらない」との賛成討論があった。

採決の結果、第6号、第7号は、全会一致で、第8号は賛成多数で可決された。

総務委員会

総務委員会に対する報告
庁舎内に地球温暖化対策推進室を設置することについて

総務部から報告があり、室の今後の方針や職員体制等について質疑を行った。また、北総鉄道運賃について企画部から報告があり、今後の本市の対応や方針について質疑を行った。

健康福祉委員会

議案について

第6号は、リハビリテーション病院が療養病床になることによる影響、運営方針の変更過程について等の質疑、「公立病院として、市の姿勢の是正を強く求め、賛成」「維持期のリハビリができるようになる」との賛成討論があった。

第7号は、出産一時金の概要、財源、滞納保険料との関係等についての質疑、「出産一時金の増額について継続していくことを求める。市独自で上乗せの検討を」「増額には賛成。申請方法もよくなった」との賛成討論があった。

第8号は、養護老人ホームを民設民営にするメリット、市の役割や義務の変化、点検に関する協定について等の質疑、「福祉施設は、市が責任を持つべき。必要な人が漏れなく入所できる体制を」との反対討論、「措置については市が責任を持つ。土地の無償貸付も便宜供与には当たらない」との賛成討論があった。

採決の結果、第6号、第7号は、全会一致で、第8号は賛成多数で可決された。

市民環境経済委員会

議案について

第9号については、設計金額と落札価格の乖離原因、落札者が採用した解体工法等の質疑、「PCB等の処理には、万全な安全策を」「今後の設計事務では、十分な情報収集・精査を求め」との賛成討論があり、不採択と決した。

第10号は、設計に際し、工事手法等の条件をつけられるのか等の質疑があった。

第11号は、高瀬処理区の下水道普及率、今後の進捗状況、供用開始までの期間等について質疑があった。

また、「この処理区はネットワーク管とのかかわりが出ているので、二重投資にならないよう要望する」との賛成討論があった。

採決の結果、2案は、いずれも全会一致で可決と決した。

建設委員会

議案について

第10号は、設計に際し、工事手法等の条件をつけられるのか等の質疑があった。

第11号は、高瀬処理区の下水道普及率、今後の進捗状況、供用開始までの期間等について質疑があった。

また、「この処理区はネットワーク管とのかかわりが出ているので、二重投資にならないよう要望する」との賛成討論があった。

採決の結果、2案は、いずれも全会一致で可決と決した。

文教委員会

議案について

第12号は「バリアフリーや環境面で配慮した公民館であり、市民に愛される運営を望む」「これを参考に、他の公共施設も環境対策をとりたい」「住民の意見を聞いて工事をされたい」「多くの市内業者が仕事を」との賛成討論があり、採決の結果、採択された。

第13号は「市民に愛される運営を望む」「これを参考に、他の公共施設も環境対策をとりたい」「住民の意見を聞いて工事をされたい」との賛成討論があり、採決の結果、採択された。

第14号は「市民に愛される運営を望む」「これを参考に、他の公共施設も環境対策をとりたい」「住民の意見を聞いて工事をされたい」との賛成討論があり、採決の結果、採択された。

陳情の議決結果

付託委員会	受理番号	件名	議決結果
健康福祉	陳情第22号	国民健康保険制度改善の意見書提出に関する陳情	不採択
	陳情第23号	はり・灸・マッサージ助成券に関する陳情	継続審査(全会一致)
	陳情第24号	現行保育制度に基づく保育施策拡充の意見書提出に関する陳情	不採択
市民環境経済	陳情第25号	馬込霊園第5次整備事業に係る道路建設計画撤回に関する陳情	不採択
建設	陳情第26号	山手工業地区の土地利用転換計画に関する陳情	不採択
文教	陳情第27号	市立体育施設の月曜開館・開園に関する陳情	採択送付(全会一致)

「ここが聞きたい」 一般質問

自由清政会

佐々木 克敏

情報発信・配信のあり方

問 船橋の情報発信手段のなかでも、ホームページはオンラインでいろいろな情報が流れるということ、市民がオンデマンドで情報を取得できることから、役割が大きくなっていく。さまざまな市の情報を周知する方法として、メールマガジンなど登録者に発信するというやり方もあるが、現在の状況について3月議会に引き続き質問する。

雨水管の再整備

答 市側からの情報発信を能動的にやっていくことは非常に大切であると考えている。今は、ホームページを見やすいものにするを進めている。メールマガジンについては、内容や回数等を検討しなければならぬ。また、日本大学の学生にお願いをして、携帯電話の利用についての意見をまとめている。

全学年で学力テストを

問 本年度3回目の全国学力学習状況調査が、中学校3年生と小学校6年生を対象に行われた。生徒や各学校を序列化するものではないことを前提に、生徒の習熟度、教師の学習指導力等をより細かく検証するために1つの手段として、市内全小中学校また全学年を対象とした学力テストを毎年実施すべきではないか。

答 平成15年度から19年度の間、小学校5年生及び中学校2年生を抽出して千葉県の学力状況調査を隔年で実施した。船橋の児童生徒の学力は千葉県と比較しておおむね良好であったことから、今後も、全国学力学習状況調査の活用を中心として、児童生徒の学力の把握及び授業改善等に取り組んでいきたい。



公共施設に貯留池の設置を

問 8月の集中豪雨により、各所で冠水被害が出た。特に習志野台地域の雨水管は、もともと公団施工というこ

報に対応したパトロール等を実施する。

公園の管理

問 公園内にある砂場について、子どもたちを衛生的で安全なところで遊ばせられるという政策が必要。犬猫のふん尿対策はどうなっているか。

答 利用者からの要望や状況に応じてごみや動物のふん等の除去をしている。さらに、年1回は危険物の有無のチェック、抗菌消臭液の散布処理、細菌検査を実施している。



衛生的で安全な砂場を

自然災害時の対応

佐藤 新三郎

問 防災訓練時に、小中学校にある備蓄品をどのように使ったか。

答 訓練の参考メニューとして、簡易トイレの組み立てを各町会・自治会に紹介している。

問 災害時の初動態勢とは何か。

答 例えば、夜間休日に震度5以上の地震が発生した際は災害対策本部を立ち上げる。台風では、水防体制による対応。いろいろな警

老老世帯へのサービス

問 老老介護は非常に増加して、問題になっている。きめ細かいサービスが必要だ。例えば、障害者手帳を申請する場合の交付までの手順はどうなるか。

答 申請書を渡し、医療機関での受診と障害等級の記載後、申請書を提出してもらう。市役所で審査・手帳の交付をする。交付の際に新たに受けられるサービス

を説明し、手続きを一度に済ませられるようにしている。来庁ができない方には、郵送の手続きを紹介する。

冠水の対応

問 最近のゲリラ的な集中豪雨による被害は拡大しており、内容も多岐にわたっており、深刻な状況になっている。8月10日の集中豪雨による冠水状況はどうだったか。

答 道路冠水158件、床上浸水1件、床下浸水17件など細かなものを含めると330件に対応した。

消えゆく地域の商店街

問 商店街の衰退傾向が高まる中、遠くまで買い物に行けない高齢者が買い物難民と呼ばれ、船橋でも同様な問題が市民から指摘されている。商店街の衰退に歯止めをかける政策はあるか。

答 商店街の施設の整備や維持に係る費用の助成、複数の商店街が地域住民と協働して実施する事業に補助、プレミアム商品券の発行などを行った。

市民社会 ネット

まき けいこ

スクールセクハラ

問 小中学校におけるセクハラ相談員の存在を生徒や

保護者は知っているのか。学校だよりに掲載するなどさまざまな機会を通して周知を図っている。

問 市立高校のセクハラ調査の集計は校内でまとめるのではなく、郵送による回答に変更すべきでは。

答 調査結果がより反映できるように、研究していく。

市役所で働く女性の諸問題

問 臨時・非常勤職員の処遇改善について、業務経験や専門性が求められる職場で働く人も多くいる中、どのように考えているのか。

答 重要なことと認識しており、報酬面だけでなく、いろいろな観点から働きやすさや環境整備を行っていくことが必要であると考えている。今後も国の動向や他市との情報交換を行い、引き続き研究していく。

子どもの医療費無料化拡大

問 子育て支援の大きな柱であり、一つの流れになっている。どのように考えるか。

答 子育て世代に対する支援として重要なことと考えている。県知事に対し医療費助成拡大の実現を伝えた。県の状況を踏まえて市がどこまでできるか判断したい。

都市計画のように厳格な手続きを義務付けていないので、財産権に対する制限となるような命令はできない。

高齢者医療費無料化

問 高齢者の負担が限界に達している中、医療費の無料化が必要と考えるが。

答 新たな制度創設の議論も踏まえ、国の動向などを注視していく。



景観保全への取り組みを

借地施設の確保と歩道の整備

池沢 敏夫

問 芝山まちかどスポーツ広場の代替地と歩道の確保策をどう考えるのか。

答 今回、所有者の求めで、土地を返還することになった。歩道部については、引き続き用地取得に向け努力していく。

山谷湾(みお)の廃墟対策

問 市内の廃墟、空き家は安全対策上、市として管理や把握が必要と考えるが。



廃墟の速やかな対策を

する所管課が中心となり対応している。また、民有地については市に直接の権限はなく、防犯パトロールの強化等に対応している。

山谷湾の整備について、今後どのような対策を講じていくのか。

問 倒壊の恐れがある建物の撤去については、所有者や使用者、地元町会等と協議を進めていく。

お知らせ

視覚・聴覚に障害のある方へ

◎カセットテープによる「声の市議会だより」と点字による「市議会だより点字版」を発行しています。希望される方は、議会事務局まで連絡してください。

◎聴覚に障害のある方に本会議・委員会を傍聴していただくため、手話通訳者を配置します。傍聴を希望する7日前までに、議会事務局に申請してください。

民主党

齊藤 誠

3人乗り自転車

問 子育て世代の負担軽減のため、3人乗り自転車の無料レンタルや購入費用の補助をできないか。

答 中山馬主協会から3人乗り自転車の寄付申し入れがあった。今後、レンタルの方法やメンテナンスについて協議していく。

後見人制度

問 後見人制度についての周知活動の現状と今後は。

答 各種団体の協力で、専門家を講師に講演会を年2回実施。また、各地域に講師を派遣し、研修会を行っている。今後も制度の周知に努めていく。

小森 雅子

ブロック塀の安全対策

問 大きな震災時にはブロック塀の下敷きになる事故がある。安全性について市は点検しているのか。

答 建築時や市民からの問い合わせには現地を調査し、危険であれば所有者に改善をお願いしている。維持保全の義務は所有者にあるが、市としても機会をとらえ安全対策の指導を行っていく。

行政対象暴力

問 行政に対し不当な要求を行う個人や団体があるがその経緯について文書に残す制度を研究してはどうか。

答 紛争等を予防するためにも有益であると認識している。現時点では困難であるが、先進市の事例を参考に調査研究していきたい。

島田 たいぞう

東葉高速鉄道

問 他の鉄道（JR・京成電鉄）並みの運賃にした場合のシミュレーションをしたことがあるか。

答 運賃を他の鉄道並みにした場合、1日10万4000人の利用者があった平成12年度の試算では、年間63億円の減収。これを補うためには、1日14万人の利用者が必要。



利用しやすい運賃に

問 県、船橋市、八千代市から国への要望の成果は。

答 粘り強い交渉の結果、財政支援を含めて、協議を行っている。

観光案内所

問 船橋市や市の名産品を紹介する観光案内所を駅周辺に設置する予定はあるか。

答 船橋駅周辺に設置したいと思っているが、適地の確保に至っていない。国体の前、早期の設置を目指し、関係機関と協議する場を設ける準備を進めている。

公明党

角田 秀穂

発達障害児への支援

問 5歳児健診の実施を。医師の確保等の面からも実施は難しい。

答 今年度開始の保育園等巡回相談の実績と評価は、46園を巡回し、おおむね好評であった。

問 療育や子ども発達相談センターへの相談の方向づけはどうしているか。

答 現場の保育士や幼稚園教諭と相談・助言し保護者と向き合える支援を行う。

問 こども発達相談センターへの紹介は保育園等によって差はあるのか。

答 園ごとの統計はとっておらず不明であるが保育士からの紹介は2割程度ある。相談には担当保育士等の同席が必要では。

答 園職員との連携を図る。特別支援教育の拡充を。

問 中学校に自閉症・情緒障害の特別支援学級開設を。設置を検討していく。

答 検討状況を問う。国が示すチャレンジ雇用制度や実施団体の研究をしており引き続き取り組み。

知的障害者就業機会増大を

問 検討状況を問う。

答 国が示すチャレンジ雇用制度や実施団体の研究をしており引き続き取り組み。

交通不便地域の解消

問 早急に丸山の交通不便地域を解決すべきだ。オン

デマンド方式で大丈夫か。**答** 早期の交通不便地域解消に向け、地域の特性にあった新公共交通サービスを検証していきたい。

角田 秀穂

JR西船橋駅南口エレベーターの設置

問 市民要望に1日でも早く心えるため、ペDESTリアンデッキ案ではなく、工期、工費ともに優れた駅舎利用を検討してはどうか。

答 地権者の同意が得られないことから、議員の言う通り、駅舎利用の案で東京メトロ等と協議していく。

問 市民要望に1日でも早く心えるため、ペDESTリアンデッキ案ではなく、工期、工費ともに優れた駅舎利用を検討してはどうか。

答 地権者の同意が得られないことから、議員の言う通り、駅舎利用の案で東京メトロ等と協議していく。

問 市民要望に1日でも早く心えるため、ペDESTリアンデッキ案ではなく、工期、工費ともに優れた駅舎利用を検討してはどうか。

答 地権者の同意が得られないことから、議員の言う通り、駅舎利用の案で東京メトロ等と協議していく。

学校給食の代替食研究結果

問 宿題だった安全・安心の学校給食提供に向けた食物アレルギー代替食の研究結果は、どうなったのか。

答 手作りによる安全性の確保を基本に、児童の状況

に応じた除外食や弁当など従来の対応を継続したい。

に合わせた除外食や弁当など従来の対応を継続したい。

藤川 浩子

障害者施策

問 グループホームやケアホームの不足を聞くが、現状はどうなのか。

答 平成18年度末の28施設から今年度37施設と毎年着実にふえている。

問 世話人不足の顕在化について、今後の取り組みを問う。

答 今年4月の報酬単価改定や職員配置加算措置の効果等を期待している。

問 平成22年度の予算計上を要望するが、市の考えは。

答 予算確保に向け、基本実施設計及び既存棟耐震診断の検討をしている。

問 調整池の機能改善策。

答 豪雨時、三咲第9調整池の機能が不十分のようだが改善策はあるのか。

答 関係課と集水口増設等の協議や機能確保のための定期的な見回りを行う。

夏休みの放課後ルーム利用

問 長期の休みだけでも放課後ルームを利用したいとの要望があるが。

答 入所困難なルームもあるが、休み期間中の月単位入所申請を受け付けている。

橋本 和子

学校のICT化

問 電子黒板の導入数は。

答 小学校154台、中学校79台、特別支援学校2台。整備された環境を学校現場でどう活用するかが課題となる。どのような研修計画を考えているか。

答 導入段階で操作方法や実践例の紹介を導入校で実施。活用段階で、研究授業教材開発等の研修参加の奨励をしていく予定。

問 ひきこもりは必ずしも精神障害とは限らない。親自身の成長を促す観点から啓発活動や親同士の意見交換等の機会が提供できないか問う。

答 心の健康セミナーを年1回開催しているが、来年度以降「ひきこもり」をテーマとした開催を検討する。親同士の意見交換は継続した事業の上で成り立つものなので、速やかな実施は困難。今後も、関係部課と連携、協議していく。

問 幾度となく本会議で取り上げてきたが、その後の経過を問う。

答 三山中・三山小・三山東小の3校と地域団体との間で実施の協議がまとまり、三山中学校区学校支援地域本部を立ち上げる。今後は3校と地域の方で協議しながら学校支援を進める。

公園に介護予防器具設置を

問 高齢者が介護や支援に頼らず健康な生活を送るためには介護予防が重要である。気軽に楽しみながら体力増強ができる健康器具を公園に設置するべきでは。

答 現地調査を行い、計画的な設置を進める。

地域経済活性化に有効な農工商連携の推進を

問 農林水産業と商工業などが連携して新たな商品やサービスを生み出す、農工商連携が全国に広がっている。本市の現状と雇用創出を問う。

答 西船橋農協が船橋ブランドの小松菜を使ったパンや和菓子等を商店と連携して商品化、市川市農協では人参を利用したパンを販売店と共同で開発し販売している。新たな雇用創出が見込め、事業全体を見て進めていく。

斎藤 忠

新商品創出の取り組み

問 船橋特産の人参・小松菜・梨等を活用し、新たな価値を創造する食材、商品開発、販路開拓等を農協等関係団体と連携し研究する。

答 船橋特産の人参・小松菜・梨等を活用し、新たな価値を創造する食材、商品開発、販路開拓等を農協等関係団体と連携し研究する。

問 千葉県で発覚した不正経理について、船橋市での調査の必要性について問う。

答 適正な事務の執行に一層努めるよう、注意喚起を促す文書を通知する。

問 市職員の不祥事が続きまさに「非常事態」だ。地方公務員法第30条「全力を挙げて職務遂行にあたる」ことの認識について問う。

答 全体の奉仕者としての意識の低さが不祥事の要因と認識する。職員自身が考え行動できる仕組みを作り、原点に立ち返り、市民の皆様への信頼回復に努めていく。

問 千葉県で発覚した不正経理について、船橋市での調査の必要性について問う。

答 適正な事務の執行に一層努めるよう、注意喚起を促す文書を通知する。

問 世界平和や国際貢献については、その効果があらわれるまで時間がかかる。大切なことは、有形無形を問わず、市民や企業、行政が継続して取り組むことだ。

世界平和と国際貢献

問 本日9月11日は8年前のアメリカ同時多発テロの日。国際関係の構築は、国境や文化を越えた相互理解の対話と平和の精神、平和への心の連帯を培うことが重要だ。それを私たちの生活の場で実践する時、その力が発揮される。世界平和と国際貢献について市長の認識を問う。

答 世界平和や国際貢献については、その効果があらわれるまで時間がかかる。大切なことは、有形無形を問わず、市民や企業、行政が継続して取り組むことだ。

石崎 幸雄

世界平和と国際貢献

問 本日9月11日は8年前のアメリカ同時多発テロの日。国際関係の構築は、国境や文化を越えた相互理解の対話と平和の精神、平和への心の連帯を培うことが重要だ。それを私たちの生活の場で実践する時、その力が発揮される。世界平和と国際貢献について市長の認識を問う。

答 世界平和や国際貢献については、その効果があらわれるまで時間がかかる。大切なことは、有形無形を問わず、市民や企業、行政が継続して取り組むことだ。

問 世界平和や国際貢献については、その効果があらわれるまで時間がかかる。大切なことは、有形無形を問わず、市民や企業、行政が継続して取り組むことだ。

答 世界平和や国際貢献については、その効果があらわれるまで時間がかかる。大切なことは、有形無形を問わず、市民や企業、行政が継続して取り組むことだ。

問 世界平和や国際貢献については、その効果があらわれるまで時間がかかる。大切なことは、有形無形を問わず、市民や企業、行政が継続して取り組むことだ。

答 世界平和や国際貢献については、その効果があらわれるまで時間がかかる。大切なことは、有形無形を問わず、市民や企業、行政が継続して取り組むことだ。

問 世界平和や国際貢献については、その効果があらわれるまで時間がかかる。大切なことは、有形無形を問わず、市民や企業、行政が継続して取り組むことだ。

答 世界平和や国際貢献については、その効果があらわれるまで時間がかかる。大切なことは、有形無形を問わず、市民や企業、行政が継続して取り組むことだ。

問 世界平和や国際貢献については、その効果があらわれるまで時間がかかる。大切なことは、有形無形を問わず、市民や企業、行政が継続して取り組むことだ。

答 世界平和や国際貢献については、その効果があらわれるまで時間がかかる。大切なことは、有形無形を問わず、市民や企業、行政が継続して取り組むことだ。



公園に設置された背伸びしベンチ

※ ICT・・・コンピューターやインターネットなど情報をやりとりする技術のこと。IT（情報技術）とほぼ同じ意味。

新風

神田 廣栄

社会福祉協議会バス

ふれあい号

問 ふれあい号の維持管理費と人件費は。

答 平成20年度実績で維持管理費は、社会福祉協議会が151万6085円を負担。人件費は市から社会福祉協議会に390万942円を補助金として支出した。



効率的な運営を

敬老会を開催していただくようお願いする。
問 実績報告書にすべての領収証の添付を求める考えは。

答 限られた予算の中で準備に時間をかけるなど役員の方々に多くの苦勞をかけている。高齢の方も多く領収証のすべてをそろえることは難しいと考えるが、実績報告の確認方法について検討する。

問 敬老祝金などの予算を見直し、老老介護やひとり暮らしの高齢者への支援に回してはどうか。

答 高齢者福祉サービス検討委員会の最終的な意見を踏まえ、対応を検討する。

問 土地所有者の承諾がとれないため、公共下水道を通すことができない場所について、市としてどのように解決していくのか。

答 土地所有者に必要性を説明し、承諾できない理由を聞くなどし、承諾が得られるよう努めている。

公共下水道

問 七林線の道路問題

問 飯山満児童ホーム近くの押しボタン式信号機のある交差点は見通しが悪いが、調整している。

答 交差点北側の用地を取得し、道路線形の変更に向けて調整している。

問 船橋中央自動車教習所付近の交差点は、前原駅方面への右折車で渋滞する。時差式信号機を望むが。

答 右折レーンを設置する必要があり、早急には困難。今後車の流れを考慮し、必要について検討する。

問 敬老祝賀会や行事をせず、ギフトカタログだけを配布することは問題では。交付金の目的に沿った

要件について検討する。
問 大宮神社から東に300m先のT字路は歩道もなく危険である。歩道や信号機の設置を求める。



安全確保に向けた取り組みを

問 交差点の改良を行い、歩行者の安全を確保することが必要と考えている。七林線全線で改良が必要な箇所について、優先順位を考慮し、検討していきたい。

補助金の見直し

問 補助金制度検討委員会の結果を新年度予算に速やかに反映させる必要があると思うが。

答 結果の再検証の必要性などを検討し、報告の趣旨を生かして、補助金の見直しを図っていく。

日本共産党

佐藤 重雄

市の事務が揺らいでいる

問 今年の国民健康保険証の書留発送について、不在

通知書に電話番号の記載がなかったため、市民が大変混乱した。郵便局とのような交渉をしたのか伺う。

答 7月中15万件の被保険者証を配達完了するため郵便事業会社市内両支店と協議し準備を進めてきた。6月、不在対応すれば7月中の配達が可能で、不在通知返信はがきは支店電話番号未記載との通知を受けた。

問 郵便局からの通知は民間化され効率化のためサービスが低下しているのでは。

答 今後このようなことがないよう両郵便局には強く申し入れる。

問 非常勤職員が市の出先施設の長として2人を任命し、不連続勤務により二重契約など市民サービスの低下を招いているのでは。

答 業務の引継の不備などによる、市民サービスの低下を招くことのないよう指導を徹底していく。

岩井 友子

問 健康診断や保健指導が市民には複雑で非常にわかりづらくなっている。これは後期高齢者医療制度導入で健康診断の体制が大きく変更したことによるものか。自治体が行っていた基本健康診断がなく、質も低下した健康診断制度の実態について保健行政を担う市はどういう問題意識を持っているか。

答 制度移行に伴い、受けづらくなったことは承知し

ている。今後も、健診を受ける方々の利便性向上、健康の保持増進、重要性の認識など制度の啓発に努める。

問 私道整備の補助、環境整備事業の補助率等の見直しを進捗状況を伺う。

答 来年度から実施、補助率の引き上げに向け関係部と検討を重ねており、現在詳細項目を詰めている。

関根 和子

問 八木が谷地区には、八木が谷小、八木が谷北小、咲が丘小があり、来年度どの小学校への特別支援学級を設置を検討しているのか。

答 現在、八木が谷小、八木が谷北小の2校を候補としている。具体的な調整内容は学校施設の状態や児童生徒数の推移など、調査を行っている。

高すぎる国民健康保険料の引き下げ

問 厚生労働省調査では、5世帯に1世帯が保険料を払えない状態にある。船橋でも1方6300世帯が滞納状況で、9530世帯が短期保険証、138世帯が資格証明書交付となっている。急激な経済不況で保険料の支払いが困難な方の増加が懸念されるので、来年度の保険料は引き下げるべきである。

答 10年間保険料を据え置いた結果、近隣他市と比較しても保険料の水準は極めて

低い状況にあり、検討する状況下にないと考える。

問 子どもの貧困

答 子どもの7人に1人は貧困状態という指摘がある。市は「子どもの貧困」を解消するため施策を検討すべき、そのため市内の実態調査を行うことを求める。

渡辺 ゆう子

問 普通学級在籍の障害のある子どもたちへの手だてを

答 身体や発達に障害のある子の援助のために、国は不十分なが、各学校への介助員配置について交付税措置をしている。「少ない国の基準」より市の予算はさらに少ない。せめて、国の示す予算での介助員配置はすべき。

地域格差を生じさせないために、国・県教育委員会に要望していく。

問 学校の階段をはいすって上がっている子がいる。必要などから学校校舎にエレベーターを設置するよう求める。

答 設置は難しい。介助員に対応している。

市の契約

問 市の発注する建設工事や委託事業で働く人たちが、生活できる賃金を保障されるよう、公契約条例制定に向け検討をすべき。

答 重要性は認識している。他市の状況を見て研究していく。

石川 敏宏

問 海老川上流域特定区画整理事業(公共事業の見直し)市街地に隣接する貴重な農地をつぶすべきでない。市街化農地としての保

全、公園・緑地として自然環境が残せるよう助言する。

問 人口急増、都市化を踏まえた制度であり、現在では宅地供給の意義は見出せない。事業をやめるべきではないか。

答 船橋の発展に寄与する地区と考え、自然に親しめる新市街地の整備を行うものである。

東葉高速鉄道の新駅設置の費用はどかが負担をするのか。

答 現在は具体的な協議は行っていないが、当該まちづくりの上で重要な事業であり、事業の熟度の高まりに合わせ検討協議の必要はあるものと考えている。

消防職員の女性暴行事件

問 市長は被害者、市民に謝罪すべきでは。

答 被害に遭われました方に心より深くお詫び申し上げます。また、市全体の信用を失墜させ、信頼を傷つけ市民の皆様にも深くお詫び申し上げます。



補助教材費は無料に

問 新型インフルエンザ対策として子ども達が予防接種を受けやすくなるため、全額公費負担で行えるよう求める。また、学校に登校する際に感染症が治ったという証明書の提出は求めないとして周知徹底すべき。

答 国の情報収集に努める

お知らせ

託児ルームのご案内

◎本会議・委員会を傍聴している間、小さなお子さんをお預かりします。7日前までに議会事務局へ連絡してください。(1歳児から就学前の幼児が対象です。)



市政会

日色 健人

安心して歩けるまちづくり

問 海神商店街の側溝補修は、当初予定より大幅に遅れており、地元住民から問い合わせが相次いでいる。年度内の確実な完了を約束したくないが見解を伺う。

答 工事が一時中断し遅れたことは地元住民に大変ご迷惑をおかけした。現在再開準備を進めており、順調に進めば年内には完了予定



歩行者の安全を

放課後ルームは

問 利用料の滞納が約二百万円と多額に上っている。入所にあたり、過去の保育料の滞納状況を確認しているか。

答 入所審査に当たり、保育料の滞納等の状況は把握していない。

問 入所に当たり、滞納の解消あるいは分納の確約を条件とすべきと考えるが。児童福祉に関する観点から、入所に条件は設けない。

長谷川 大

市長の政治姿勢

問 最近の市職員は市長に決裁を仰ぐ場合、3つの案があれば、職員が1つの案だけを決めて持ってくるという噂を聞いたが、職員は市長ではない。市長と職員との信頼関係は大切だとは思いますが、今の関係はそうではない。市長は自らの色を出すことで、船橋がよくないと私は思っている。市長も議員も公選、一丸で事業を進めたほうがよい。職員が作成したペーパーで答弁するのはなく、市長はこれからの船橋をどう考え、どうしたいのか、3期12年の公約を覆し、再び市長となった気持ちを表現してほしい。また保育、ゴミ収集の民営化など、学校給食を民営化した時のスピード感とパワーで、この4年間にい仕事をしてほしい。

答 将来を見据え、時代に対応した政策を総合的に実行し、議論を重ね、今ある諸課題を解決し道筋を付け引き継ぎたいと考える。

木村 哲也

政策立案と評価

問 次期基本計画策定に係る調査研究報告書における職員アンケートの回答率と総合計画の活用率が低いのは、職員意識に問題があるのではないか。

答 アンケートは職員の目線から見たまちづくりの諸課題を把握し、新基本計画策定の機運醸成を目的に実施した。回答率が低かったことは非常に残念な結果であり、各部長には注意を喚起した。今後は職員の意識改革を図り、全庁的に計画策定に向け機運を高めた

問 システム確立に取り組みのため、シンクタンクの設置が必要と考えるが。

答 必要性は感じるが十分機能していないなど聞いています。今後、政策形成の中心となる部署と部局の機能向上、連携による総合力が重要である。その体制等については更に研究の必要がある。



船橋市総合計画の冊子

問 「教育委員会」とは、教育委員会事務局のことであり、教育委員と教育委員会議の意思判断を遂行する機関と認識している。

多くの市民の方が、HPで会議録をごらんになる。教育委員に重要な役割が求められている。その判断は教科書採択を初め、重大な判断として、子どもたちの将来を左右する。その判断の重さと一対に責任がある。発言者の記載がないなど到底理解され得ない。現行の記載方式につき、その是非を問う。

非と考えるなら、どのような対応を考えるのか、所見の回答を求めます。

答 ご指摘の方向で、他の委員に諮ってまいります。

中村 実

教育委員会会議録のホームページ記載

問 市民からの通報で消防本部、道路部、下水道部、防災課などが対応しているが、情報の共有が必要であり一元管理すべきである。各課の対応状況及び各課で把握した被害状況を取りまとめている担当部署はどこか。

答 防災課で行っている。取りまとめたデータはどのように活用しているか。県への被害状況報告の結果の概要は。

問 道路冠水158件、家屋での床上浸水1件、床上浸水17件、敷地内浸水20件、マンホールの浮上14件など、その他を含め合計330件となった。

問 市民からの通報で消防本部、道路部、下水道部、防災課などが対応しているが、情報の共有が必要であり一元管理すべきである。各課の対応状況及び各課で把握した被害状況を取りまとめている担当部署はどこか。

答 防災課で行っている。取りまとめたデータはどのように活用しているか。県への被害状況報告の結果の概要は。

耀(かがやき)

渡辺 賢次

道路冠水

問 グリラ豪雨の回数が増加すると予測されており、迅速な対策方法やインフラの再点検を急ぐ必要がある。8月10日に発生したゲリラ豪雨について市が把握している被害の状況を伺う。

答 道路冠水158件、家屋での床上浸水1件、床上浸水17件、敷地内浸水20件、マンホールの浮上14件など、その他を含め合計330件となった。

中村 静雄

補助金に不透明な部分が：

問 これからの行政サービスには市民と新たなパートナー関係を構築することが求められている。補助金制度は市の政策実現のため市民の協力のもと貢献してきたのは事実だが、交付基準や評価基準がはっきりしていない。補助金制度検討委員会が設置され検討に着手しているが、補助金の審査

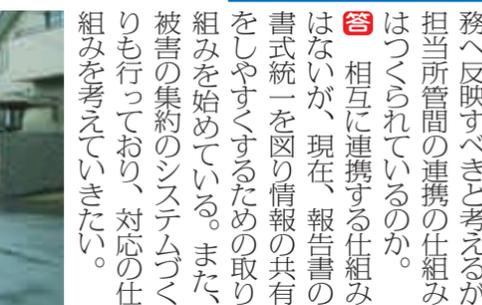
問 後期計画策定の進捗状況は。

答 ニーズ調査、課題の整理、関連事業の調査などを行った。外部委員による計画策定委員会を設置し、原案の審議を行っている。今

資料として、過去の被害データとあわせて蓄積をし、浸水被害地域の把握などに役立てている。

問 取りまとめた被害状況を分析し、減災のために業務へ反映すべきと考えるが、担当所管間の連携の仕組みはつくられているのか。

答 相互に連携する仕組みはないが、現在、報告書の書式統一を図り情報の共有をしやすいするための取り組みを始めています。また、被害の集約のシステムづくりも行っており、対応の仕組みを考えていきたい。



迅速な対応ができる体制づくりを

鈴木 和美

新政権による

問 政権交代の影響があると思われるが、22年度の当初予算について、現状はどうなっており、どのように対応していくのか。

答 予算編成には着手しており、基本的には現行の制度のまま進めている。何らかの変化が生じた場合はその時点で対応を図りたい。情報収集に努め、迅速かつ的確な対応をしていく。

鈴木 和美

次世代育成支援行動計画(ふなばし・あいプラン)

問 後期計画策定の進捗状況は。

答 ニーズ調査、課題の整理、関連事業の調査などを行った。外部委員による計画策定委員会を設置し、原案の審議を行っている。今

問 後期計画策定の進捗状況は。

答 ニーズ調査、課題の整理、関連事業の調査などを行った。外部委員による計画策定委員会を設置し、原案の審議を行っている。今

後、審議を進め、議会への報告、パブリック・コメントを行い、2月から3月に計画の完成を考えている。

問 複数の患者が出た場合、閉鎖することの社会的影響を十分考慮した上で、必要に応じてクラス閉鎖等を実施していくこととしている。幼稚園については、県と連携し、相談等対応していく。

問 市内でインフルエンザが蔓延した場合、母子保健事業等はどう対応するのか。

答 蔓延の状況によっては、10月実施予定のポリオは中止し、重症化する恐れのある妊婦を対象とした教室、低体重児を対象とした乳児発達相談は関係課と協議しながら中止も検討していく。保健事業などは現時点では実施する方向で考えている。母子保健事業等を中止する場合には、速やかに周知を徹底し、適切に対応する。



ふなばしあいプラン

新型インフルエンザ対策

問 保育園の対応において、保護者の負担が大きいため、ことから極力閉鎖はしない。園内で発生した場合は、当該園児以外、登園自粛に

◎次の定例会は11月19日(木)開会の予定です。

請願・陳情の受理期限は、11月18日(水)午後5時です。

予定審議日程

月日(曜)	開会時間	主な議事
11月19日(木)	午後1時	開会、議案提案説明他
11月27日(金)	午後1時	議案質疑
11月30日(月)	午後1時	一般質問
12月1日(火)		
12月2日(水)		
12月3日(木)		
12月4日(金)		
12月8日(火)	未定	常任委員会
12月9日(水)	未定	予算特別委員会
12月14日(月)	午後1時	付託事件の審査報告と採決、閉会

「市議会だより」に対するご意見・ご感想をお寄せください。
〒273-8501 船橋市湊町2-10-25
船橋市議会 広報編集委員会
電話 047(436)3012
FAX 047(436)3013
Eメール gikai-chosa@city.funabashi.chiba.jp